



■□2011 年度第 1 回理事会報告□■

と き:2011年9月18日(日)午後3時~5時 ところ:ぶーたん

出席者:理事6人、監事1人、事務局長1人、正会員1人

9月18日(日)午後3時からぶーたんで2011年度第1回理事会が開かれ、飯尾理事長はじめ理事6人、監事1人と事務局長、出席をお願いした正会員1人が出席、秋から冬の事業計画を中心に話し合いました。

まず永久事務局長が4月以降の活動(別記)と会計について報告。会計では、次年度以降の活動継続に向

け役員から、新たな委託事業の掘り起こしなど財政改善につなげるべく幾つかの提案が行われました。

続いて秋以降の事業計画が提案され、追加の提案と合わせて当面の事業計画が決まりました(別記)。

4月以降の主な活動と当面の事業計画は下記の通りです。

【4月以降の主な活動】

・4月1日/『世屋新聞』発行・同1日/限界集落新規就農者育成事業(宮津市)受け入れスタート(~2012年3月31日:前野準治さん)・同9日/理事会(ぶーたん)・同21日/ふるさと会議世屋(世屋地区公民館)・5月15日/講演「廃村浅谷の思い出」(ぶーたん、講師:小倉文生さん)と浅谷ウオーク(10人)・同15日/2011年度通常総会(ぶーたん、38人・団体、賛助会員1人)・同21日/日本旅行スケッチツアーガイド・同25日/宮津ふるさとの森を育てる協議会2011年度総会(宮津市林業振興センター)・6

月1日/里の仕掛人事業(京都府)受け入れスタート(~2011年3月31日:山形歩さん)・同17日/地域力再生功労団体表彰(京都府、三好監事出席)・同18日/ふるさと会議の世屋マップ完成お披露目(世屋地区公民館)・同29日/世屋高原休憩所オープン(飯尾理事長出席)・7月25日/ニュースレターNo.29発行・同26日ふるさと会議世屋(世屋地区公民館)・同19日/メールマガジン発行・9月1日/京都府立大インターンシップ受け入れ(~9月14日、平沢宏樹さん)・同8日/京都学園大研修旅行案内(20人)

【当面の事業計画・イベント】

■11月3日(木)9:30~12:00

里山案内人講座②「世屋高原で冬鳥を探そう」

松尾田んぼ、岳山周辺

定員:20人

集合:しおぎり荘

持ち物:双眼鏡(無い方はご相談下さい)、図鑑

参加費:会員300円、一般500円

■同13:00~14:30

講演「里山と木の文化」

主催:京都大学

会場:ぶーたん

講師:森林総合研究所関西支所長 藤井智之氏

森林総合研究所主任研究員 奥 敬一氏

■11月6日(日)10:30~13:30

森林ボランティアフォレスターうじ研修受け入れ

■同9:30~15:30

秋の大収穫祭

主催:丹後藤織り保存会

会場:藤織り伝承交流館&世屋高原休憩所

問い合わせ:TEL0772-27-1547(井之本さん方)

■同10:00~15:00

世屋地区運動会&収穫祭

主催：世屋地区自治連、世屋地区公民館

会場：旧世屋小学校体育館

■11月12日(土) 8:45~12:15

森林文化協会ツアー受け入れ

■11月19日(日) 13:30~16:30

ワークショップ「世屋の防災を考える」

地震、台風と大きな自然災害が続く昨今、地域の防災体制を整備する必要性が高まっていることから、世屋地域の災害危険性をフィールドツアーで具体的に確認し、地域の特徴を踏まえて①過疎化・高齢化が進むコミュニティで共に助け合い困らないための防災術、および②多くの来訪者を考慮した防災体制のあり方を考えます。

共催：里山ネットワーク世屋、世屋地区自治連合協議会、京都府立大学

講師：京都府立大学大学院生命環境科学研究科

助教(砂防学研究室) 三好岩生氏

会場：ぶーたん(人数により変更あり)

参加費：会員300円、一般500円

■12月3日(土) 9:00~12:00

ぶーたん雪囲い

■同16:00~17:00

民泊講座

同17:00~

忘年会

会場：あられ山村塾(京丹后市弥栄町)

■□ 活動報告 ①□■

【里山案内人講座① 高山ブナ林で秋の実りウォッチング】

とき:2011年9月18日(日) 午前9時~午後2時30分

参加者:6人 案内:永久徹さん

9月18日(日)、再開した里山案内人講座の1回目として「高山ブナ林で秋の実りウォッチング」を開催し、6人が参加。山道を歩きながらドングリやキノコなど秋の実りを探したり、木の実を味見したりしました。

特に、近年激増しているクマの出没に関係があると思われるドングリに注目しましたが、ブナの実はこちらは、コナラ、ミズナラは皆無、クリだけは普通に実がついているものの、全体としては去年に続き凶作でした。宮津周辺の他の山も同様で、今年もクマの出没が心配です。

初めての高山ブナ林で自然の豊かさ実感

京都大学大学院地球環境学舎修士2年

芹澤 貴裕

9月18日にNPO法人里山ネットワーク世屋の活動の一環で、高山周辺ブナ林の秋の実りウォッチングに参加させていただきました。私は大学院で上世屋地区を対象に里山の景観とそこに生息する鳥類を題材として研究を行っております。そのため、上世屋には何度か訪れていますが、集落から離れたブナ林へ入るのは今回が初めての機会でした。



ブナの巨木を見上げても実はこちら

散策中は、ヤマボウシなど道沿いに自生している果実を食べたり、案内人の方に周囲の動植物についての解説をしてもらいながら、ブナ林の秋の実りを実感することができました。また、ブナの木々の合間から差し込む光の美しさや尾根沿いに吹き抜ける風の気持ちよさは、普段街中で生活している時には決して感じることはできないものでした。

ブナの自然林が残っているところでは、クマタカの飛ぶ姿を目と鼻の先で見られるといううれしいハプニングもあり、自然の中で過ごす時間を十分に堪能することができました。

今回のウォッチングは、希少な里山ブナ林を見るこ

とができただけでなく、改めて「自然っていいなあ」と感じることでできた、とても貴重な体験であったと

思います。里山ネットワーク世屋の皆さま、本当にありがとうございました。

■□ 活動報告 ② □■

【京都府立大生のインターンシップ受け入れ】

と き:2011年9月1日(木)~9月14日(水)

研修者:京都府立大学公共政策学部公共政策学科3回生・平沢宏樹さん

研修場所:木子・おはよう農園(丹羽建二さん)、宮津まごころ市、松尾・溝口家、上世屋・合力の会(井之本泰さん、白石裕久さん)、飯尾醸造(飯尾毅さん)

9月1日(木)から14日(水)にかけて京都府立大生のインターンシップ受け入れを行い、公共政策学部公共政策学科3回生の平沢宏樹さんがぶーたんで寝起きしながら、田んぼ、畑や山の作業、農産物の加工、販売などの研修を行いました。

木子のおはよう農園では、台風が近づく中、丹羽建二さんの指導で農作物の倒伏防止作業、宮津まごころ市では地元農産品・加工品の直売の仕事、松尾の溝口さん宅では平一郎さん、喜順さん親子の指導でストーブ用の薪やキノコのホダ木の準備、京都祇園祭用の笹の刈り取り・出荷、合力の会では井之本泰さんの指導で稲木建て、白石裕久さんの指導で古民家改修作業、飯尾醸造では飯尾毅社長から酢の原料となる無農薬米の栽培や昔ながらの酢作りについてレクチャーを受けるなど、盛りだくさんの実習をこなしました。

自然の中で暮らす楽しさと大変さを体験

京都府立大学公共政策学部公共政策学科3回生

平沢宏樹

9月の頭から実習で2週間ほどお世話になりました。実習では主に農作業のお手伝いをさせていただきました。私は体力には自信がありましたが、台風による風雨や炎天下での作業は本当に大変でした。農作業だけでなく、こういった環境で自然とともに生活していくことの楽しさとともに、いかに大変であるかを実感しました。また、高齢化で若い力が少ないことを考えると、こうした重労働をお年寄りだけで行っていくのは現実的に厳しく、これからの世屋の農業、ひいては日本の農業や過疎地域の将来を不安視せざるを得ませんでした。しかし、そのような状況においても、



冬に向け溝口平一郎さん(右)とストーブ用の薪の準備

世屋の活性化のために新たな産業を興そう、若い人を呼び込もうという、さまざまな取り組みをさまざまな方向から頑張っている方々を見て、希望を見出すこともできました。いかに世屋が多くの方に愛されているのかを感じ取れ、こういった取り組みが是非とも実を結んでほしいと思いました。

街での生活に慣れてしまっている私にとって、買い物等での不便さは否めませんでした。その気持ちは実習を終えても変わらないというのが正直なところです。しかし、その不便さを差し引いても世屋はいいところだったと思えます。それは世屋の方たちの人柄や、自然豊かで静かな環境などの、利便性を追求した都会とは対極にある魅力によるものでした。

今回の実習のような機会がなければ、その魅力を感じることはできなかったでしょう。本当に貴重な経験になりました。

ありがとうございました。

■□ 会員の活動 □■

【おはよう農園の今日このごろ／丹羽建二さん】

「農業5年目」「芋掘り体験教室」「農業研修の平沢君」

農業5年目

皆さんこんにちは。おはよう農園のにわとりです。農業を始めて5年目。木子で畑作中心にやっています。

今年は黒大豆（新丹波黒）、トウガラシ、サツマイモ、ジャガイモ、山菜など作っています。

1年目に丹後農業改良普及センターで農業基礎講座を受講しました。その後毎年失敗の連続ですが、周りの人に教えていただき、続けています。

芋掘り体験教室について

世屋高原を多くの子供たちに知ってほしいとの思いで、昨年からはサツマイモの芋掘り体験教室をやっています。

昨年は府中小学校1年の皆さんが来てくれました。

今年は吉津小学校と府中小学校の皆さんが来てくれることになっています。

昨年はイノシシに食べられ、今年はクキを虫に食べられて大変でしたが、がんばって成長しています。

小学生の皆さん、楽しみに待っていてください。



平沢君(右)と黒大豆の倒伏を防止するワイヤー設置作業

農業研修の平沢君について

12号台風の最中（9月3日、4日）に、農業研修の大学生・平沢君に手伝っていただき、大変助かりました。

作業内容は、黒大豆が風雨で転倒しないための支柱立てとワイヤー張りで、かなり力の要るきつい作業でした。

小雨の中でも作業を続けてくれました。本当にはつらつとした気持ちの良い青年でした。

平沢君、ありがとうございました。（丹羽建二）

..... 《事務局だより》

■芹澤君の記事にも書かれていますが、高山のブナ林を歩いていて、ほんの10メートルほどの距離でクマタカに遭遇しました。こんなに近くで見たのは3年ほど前、会員の河嶋さんと頂上付近で出会って以来です。このところしばらく見かけなかったので心配でしたが、久々の勇姿に安心しました。

■世屋周辺ではほかにもサシバ、ノスリ、ツミなどの猛禽類がしばしば見られます。これらの猛禽類たちは里山のおもてなしの頂点に位置し、これらの鳥が

生息しているということは、世屋の里山の生物相が豊かであることの証明であるといえます。「世屋高原で冬鳥を探そう」でも、運がよければカッコいいタカたちに会えるかもしれませんよ。

■今号でご案内している催しのうち「世屋高原で冬鳥を探そう」「講演・里山と木の文化」「ワークショップ・世屋の防災を考える」に参加される方は、事前に事務局に電話、ファクス、メールなどでお申し込みください。（永久）

NEWS LETTER ニュースレター No.30

発行：NPO 法人里山ネットワーク世屋

〒626-0227 京都府宮津市宇上世屋 560-1

TEL/FAX0772-47-3540 bhutan@mx.nkansai.ne.jp

編集：永久徹

印刷協力：(株)飯尾醸造